

4. 南関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる	家電量販店（営業統括）	・オリンピック控え、デジタルAV関連の販売量が伸びる。また、インターネットを通じて、高機能な白物家電の販売も伸びており、ボーナス支給額が増加するというニュースもあることから、今後の消費動向は上向き。 ・イラク戦争やSARSなど特殊要素が起こらない限り、連休後も、引き続き消費マインドは上向きになる。
		旅行代理店（従業員）	
	やや良くなる	一般小売店〔衣料・雑貨〕（経営者）	・良質の商品で納得すれば、客は価格にかかわらず購買している。客の意識が徐々に変化してきているので、今後はやや良くなる。
		百貨店（売場主任）	・モチベーション対応の商品が動いているので、消費者の生活にある程度のゆとりが出ていると考えられ、この傾向は今後2、3か月続く。
		百貨店（売場主任）	・雑貨の動きが非常に良い。化粧品も、UVやホワイトニング等、実需として必要なアイテムの出足が良く、初夏から夏に向かいやや良くなる。
		スーパー（店長）	・5月には、当社の強みを生かしたイベントである大生鮮祭を、全社で実施する。店舗ベースでは、8月に改装を予定しているため、今よりは売上が良くなる。
		スーパー（総務担当）	・3か月後には消費者も消費税総額表示に慣れ、客に合った商品を提供すれば売上は回復に転じると見込まれる。
		スーパー（統括）	・買い回りをした上で、値打ち商品しか購入しないなど、客の目は依然として厳しいが、経済的な余裕もみえるようになってきているので、今後はやや良くなる。
		コンビニ（経営者）	・昨年の冷夏等のように、天候に左右される傾向は変わらないと思われるが、酒の販売を開始したので、売上は約5%増加する。
		衣料品専門店（経営者）	・大手企業の決算が好調で、6、7月のボーナスで一般消費者が潤う。
		家電量販店（店長）	・消費者は、1つを購入すると別の物を節約するめりはりのある消費行動を取っているが、家電業全体では、オリンピック、デジタル家電、夏のエアコンという要素から、プラス予測が高まっている。
		家電量販店（営業部長）	・接客力の強化で、まとめ買い、ついで買いの促進が図られ、客単価が向上している。省エネエアコンや薄型テレビ、またデジタル一眼レフカメラなど高付加価値、高単価商品が夏に向けて期待できる。
		乗用車販売店（販売担当）	・今後新型モデルも投入され、低年式ユーザーからの台替え、車検をクリアできない旧型車輦からの台替えが増加する。
		乗用車販売店（営業担当）	・新型車の発売が続くので、来客数の増加が見込まれる。
		スナック（経営者）	・6月には、各企業とも多少ボーナスが支給されると聞いている。
		都市型ホテル（スタッフ）	・2、3か月先の宴会の予約状況が、前年同時期と比べて良い。
		都市型ホテル（スタッフ）	・近隣のファーストフードの袋を持ってくる客が減少している。客の動きも活発化し、来客数が増加しているため、今後はやや良くなる。
		旅行代理店（支店長）	・今まで我慢していた海外旅行のリピーターが、大きく動き出している。
		タクシー運転手	・若干、客数が増加している。法人協会の乗務員が集まらず、相乗効果で上昇する。
		通信会社（営業担当）	・デジタル放送の商品メニューが7月より提供されるため、ある程度の需要が見込まれる。
		その他レジャー施設 〔アミューズメント〕 （職員）	・5月に米国でゲーム機のショーが開催され、消費者への訴求効果があることから、ますます海外への依存度が高まる。 ・アミューズメント施設は、既存店で前年比が100%を超える好調さを維持しており、この傾向は継続する。
		住宅販売会社（従業員）	・新規住宅総合展示場のオープンが重なり、来客数、販売量ともに増加が見込める。
住宅販売会社（従業員）	・仲介業者によれば、客足は変わらないが、徐々に契約件数は増えており、今後に期待できる。		
変わらない	商店街（代表者）	・この数か月、良い方向には向かっているが、足元の景気はまだ弱く、この状況が続くかは分からない。	

一般小売店〔鞆・袋物〕（従業員）	・仕入需要はこの先も全く期待できない。 ・イベント需要については、打ち出しの方法によっては、前年をクリアできるが、身の回りの買い回り品の需要次第で、この先の売上が大きく影響される。単価は全体では1割程度低下しているため、来客数をどう確保するかが課題である。
百貨店（企画担当）	・高級雑貨や家具寝装など高額品の好調に付随する形で、婦人、紳士などのファッションゾーンが上昇しないと、全体の消費の押し上げにはならない。
百貨店（営業担当）	・食料品を始めとする日用品の売上は、4月に入ってから消費税総額表示により、多少の影響を受けている。婦人服飾関連の売上は上昇に向かっているものの、売上シェアの大きい食料品の影響がかなり出ているので、全体としては現在とほぼ同推移となる。
百貨店（営業企画担当）	・衣料品を中心に天候、気候次第の面が多いが、客の日頃の買上動向からは、売上が上向く傾向はみられない。
百貨店（営業企画担当）	・プラズマテレビ等とは異なり、衣料品、リビング用品、食品など取扱商材においては、従来品との差別化を打ち出しにくく、消費が大きく上向く気配は感じ取れない。
スーパー（店長）	・夏物が売れ始めてはいるが、気温が不安定であり、衣料や住居関連の季節商品の売上が、大きく増加するほどは動いていない。食品についても、客が消費税総額表示に慣れるまでに時間がかかる。
スーパー（店長）	・競合店出店により、客の買い回りが今以上に激しくなり、価格だけでなく買上点数にも影響を及ぼす可能性が大きい。
スーパー（運営担当）	・年金問題など、将来の生活に対する不安感が払拭されていない。
コンビニ（経営者）	・客は、生活の中で金の使い方にめりはりをつけている。コンビニでは必要な物を必要なだけ買っているため、あまり良くなならない。
コンビニ（店長）	・セット販売、値引き販売を繰り返しているが、現状維持がやっとである。今後も同様の状況が続く。
衣料品専門店（経営者）	・一部メーカーでは好調な話を聞くが、全体的には昨年比ぎりぎりの様子である。全体的にはデフレ状況は続き、客がシビアな消費行動を取ると推測されるなか、粗利益確保、在庫圧縮が鍵となる。
衣料品専門店（営業担当）	・4月から消費税が総額表示になり、3,900円の商品が4,095円、4,900円の商品が5,145円など税込価格になることで、買い得感がなくなり、客の買い控えがみられる。この状況はしばらく続く。
乗用車販売店（経営者）	・4月の車検台数が落ち込んでおり、このまま上向かない状態が続く。
乗用車販売店（総務担当）	・新車の発売予定が年度の後半になるため、上期は厳しい状況が予想される。
その他専門店〔眼鏡〕（店員）	・高額商品の動きが一部の店舗だけでなく、全体にみられることから、やや回復の兆しが出ているようにみえるが、2、3か月この状況が続くかは分からない。
高級レストラン（支配人）	・当地区では大手企業が転出し、その後に省庁が引っ越してきたが、省庁の職員は低価格店に行ったり弁当を購入しているようで、当店には来店しないので、今後も変わらない。
一般レストラン（店長）	・消費者は、飲みに来て早く帰ってしまうなど、消費を控えている様子がみられる。この傾向はまだ続く。
都市型ホテル（スタッフ）	・一般法人の宴会は回復したかのようにみえるが、相変わらず値下げ圧力が強く、仕事がある割に売上は伸びない。日曜の夜はレストラン、宴会場ともに来客数が少ない。今後、ホテルへ来館してもらうための仕掛けが必要である。
旅行代理店（従業員）	・国内需要を中心に、パッケージを含む宿泊数、旅行者数の動きは良くなっているが、5、6月はシーズンにもかかわらず、個人旅行の入込が少なく、改善の状況が続くか疑問である。海外需要に関しても事故、SARSの影響などの不安要素がある。
旅行代理店（従業員）	・オリンピックの開催は、旅行業界にとっては追い風であるが、場所がアテネなので、大きな商戦にはならない。
タクシー運転手	・客の勤務先である各企業の状況が改善しないと、地元は変わらない。
タクシー運転手	・景気が良くなるような材料は、全く見つからない。今後も、このまま変わらない。
通信会社（経営者）	・仕事の話は多少増えているが、長期的な案件がほとんどなく、営業が絶えず必要となっている。

	通信会社（企画担当）	・デジタルテレビの普及は、当社の新サービスに追い風となっている。良い状況が続く。
	ゴルフ場（支配人）	・予約状況から見て、引き続き来客数を確保できる。
	その他レジャー施設（経営者）	・当店は必要経費が少ないという利点があるが、同業は何軒かつぶれている。先行きも悪い状態は変わらない。
	その他サービス〔語学学校〕（総責任者）	・販売単価が低い商品に飛びつく客と、高くても買う客に分かれているが、当業界は全体的には変わらない。
	住宅販売会社（従業員）	・連休のユーザーの動きにもよるが、現在の集客状況から判断すると、2、3か月後もあまり変化はない。
やや悪くなる	百貨店（広報担当）	・好調な品目と不調な品目の差が激しくなっているが、好調な品目は、好調とはいえ前年並みもしくは若干のプラスであるのに対して、不調な品目は90%前半までに落ち込むなど、不調方向に振れる幅の方が大きい状況が続いている。今後の見通しも厳しい。
	コンビニ（経営者）	・酒類販売を行う同業者が増えているので、例えば老人ホームの顧客など、新たな客層を開拓しない限り、状況が上向くことはあり得ない。
	乗用車販売店（販売担当）	・一部を除き、消費者の給与も上がらず、ボーナス回答も満額ではないため、景気は悪くなる。
	都市型ホテル（スタッフ）	・夏場の宴会予約がさほど伸びておらず、厳しい状況が予想される。
	旅行代理店（従業員）	・今後2、3か月についても、思ったほどの団体数が見込まれず、受注率が前年比の70%にとどまっており、仕事量が減少する。
	設計事務所（所長）	・競争相手、単価、客の動向を見ているが、景気回復を実感できない。
悪くなる	一般小売店〔家具〕（経営者）	・現在の状況から判断すると、今後2、3か月先の来客数は少なく、売上も伸びない。今の悪い状況が継続する。
企業動向関連	良くなる	-
	やや良くなる	-
	食料品製造業（経営者）	・販売価格は低いが、商品が多少動き出したので、少し期待している。
	一般機械器具製造業（経営者）	・6、7月の受注量の増加が見込める。
	電気機械器具製造業（経営者）	・引き合いが増加している。カタログの発送部数が増え、成約数も増加しているため、今後はやや良くなる。
	輸送業（総務担当）	・取引先である各メーカーとも、かなりの生産量を上げていることから、荷量は今後とも増加する。
	不動産業（総務担当）	・今後2、3か月でテナントが退去するという話が出ていない。
	広告代理店（従業員）	・サービス業の客に広告を勧めると契約するようになってきた。
	その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・具体的なシステム更改に向けた提案の依頼が数多くきており、全体的に通信業界の景気は若干上向きに推移している。いくつかのユーザーから、職場IT化に向けて今年度の予算配分の割合が多くなっている、との回答を得ている。
変わらない	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・引き合いが全くない状態が続いている。
	化学工業（従業員）	・4月は生産数量が減少しており、今後も当分は減産を維持する予定である。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・中小企業には、景気回復が見えておらず、しばらくは変化しない。
	その他製造業〔靴〕（経営者）	・商品の開発、ニーズにあった商品作りには時間がかかるので、すぐには良くなるはならない。
	建設業（営業担当）	・少しずつ受注量、利益とも上がってきているが、すぐには良くなるはならないと予想している。
	建設業（経理担当）	・久しぶりに工場増築の工事を受注したが、地元の製造業は依然として冷え切っており、設備投資の話はめったにない。
	金融業（審査担当）	・売上増加に転じている企業が目立ってきているものの、今後の設備投資については、依然として慎重な姿勢が大半である。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・コストダウン要請もいまだ根強く、景気の先行きに対する慎重な動きはしばらく続く。
やや悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・関連先に明るさがみえない。
	不動産業（経営者）	・全く予想が立たず、悪い状態が続いている。競争が激しくなっているため、仕事のやり方を変えて頑張るしかない。

	悪くなる	輸送業（総務担当）	・得意先の仕事量の減少に伴い、仕事量を確保するために同業他社から仕事を回してもらう算段をしているが、単価は安く、支払は手形もしくは現金でも支払期日まで長い等、キャッシュフローは厳しさを増す。
雇用 関連	良くなる	求人情報誌製作会社（企画担当）	・アルバイトやパート領域を中心に、雇用は底堅い。特定業種への偏りがなく、全業種で求人件数が伸びており、全体的に景況感が良さそうである。特に、派遣や業請など人材系の求人数が伸びており、今後は良くなる。
	やや良くなる	人材派遣会社（社員）	・各メーカーの業績は上向いているが、労基法の改定により、36協定による残業の上限が厳しくなっているため、採用数を増やさないと対応できなくなると思われる。当社にとっては派遣社員の増員につながる。
		求人情報誌製作会社（編集担当）	・これから中元期、ボーナス期を迎えるが、昨年に比べて期待感が大きく、地元の大型店の販促展開も早い。配送アルバイトや補強人員などの求人も増加が予想される。
		新聞社〔求人広告〕（担当者）	・今後何か月かの間に求人の計画や予定がある、と客から聞いているので、広告の件数が増える、広告枠が大きくなると期待している。
		職業安定所（職員）	・受注の好調を反映してか、中小企業の人材ニーズに力強さを感じる。独自の技術を持つ製造系中小企業の経営者及び採用責任者から、人材不足により受注を抑えているという声を聞く機会が増えており、高い採用意欲は今後も続く。
		職業安定所（職員）	・当所の3月の有効求人倍率は1.40倍で、2か月連続で減少しているが、サービス業での請負求人等が落ち着いた影響であり、製造業では増加傾向にある。求人検索機の利用待ち人数も減少しており、今後はやや良くなる。
	学校〔専門学校〕（教務担当）	・今春卒業生については、100%の内定を得ている。来春卒業予定者への求人も少なくない。	
変わらない	人材派遣会社（社員）	・6月の賞与については何とも言えないが、結婚式等が結構入っており、金が出る要素はあるので、仕事量は増加する。	
	人材派遣会社（支店長）	・派遣法改正によって、製造業からの問い合わせは増えているが、問い合わせのみでなかなか求人には至っていない。実際の派遣につながるまで、まだ時間がかかることが予想される。	
	求人情報誌製作会社（営業担当）	・採用はしたいものの、何とか現状の人数で賄おうという企業や店舗が多く、事業拡大への動きが消極的になっている。このまま現状維持が続けば、人材の流通は活発化しない。	
	職業安定所（職員）	・新規求人数は増加しているが、パート求人の増加が大きい状況が続く。	
	民間職業紹介機関（経営者）	・今後の成長を前提に中途採用を増やす企業側の考えは、雇用市場には見受けられない。	
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-